

ホッケー女子日本代表チーム・サクラジャパンの表敬訪問での挨拶(4月18日)

サクラジャパンの皆様、パースへようこそご訪問頂きました。パリ・オリンピック出場おめでとうございます。1月のインドでの最終予選で、ランキング上位のインドに粘り勝ちをして出場権を獲得されたのは感動的でした。オリンピックまであと100日となる貴重な時間を、強化試合のためのパースで過ごされること、大変嬉しく歓迎申し上げます。

オーストラリアはスポーツ大国ですが、特にパースはフィールドホッケーが盛んで、オーストラリアの中でホッケーの本部が設置されています。オーストラリアの女子ナショナルチーム、「ホッケールー」はオリンピック金メダル3回、ワールドカップ優勝2回のオランダに次ぐ世界トップチームです。そのような誇りもありパース・ホッケースタジアムには、Republic of Hockey、ホッケー共和国と書かれています。

パースの日本人社会にとってもホッケーは親しみ深いスポーツとなりました。東京大学のホッケーチームのコーチもされた遠藤里菜さんは、南パースの **WASP** という伝統あるクラブチームの主力選手ですし、昨年は星希巳加選手が同じく **WASP** でホッケー親善大使とも言えるべき大きな活躍をされ、日本人社会にホッケー熱を広めていただいたところです。**YMCC** というチームの水野百花選手を含め、パースは、日本人選手がクラブチームに集まり、自らの技能を磨くとともにホッケーを通じた国際交流を活発に展開している土地です。

本日、西豪州日本人の中尾会長(三井物産支店長)も、強力なサポーターで、大学時代のアメフト部の経験からも、ホッケー選手達へご支援を頂いております。布川副会長(丸紅支店長)も大学体育会ゴルフ部の主将です。私も中尾会長と一緒にホッケー・スタジアムに通いましたが、ホッケーのスピードと運動量の多さに圧倒されました。また、オーストラリア人の3-4歳の子供達がホッケーの子供用スティックを振り回し、家族で試合を楽しんでいるのを見て、当地ホッケーファンの層の厚さに驚きました。

また、本日同席するフィジオセラピストの野澤先生は、自らスポーツサポーターであり、当地に来訪される日本のスポーツ選手にとり頼りになるお医者様です。今日は、お忙しい診療の合間、昼休みを抜けて参加頂きました。

テストマッチの応援には私自身も家内とともに参加させていただきます。日本人コミュニティからも多数の方々に来ていただけることを願っております。

パースは世界で最も美しい街とも言われますが、日本が大好きな方々が多く、気候も人間も温かい土地柄です。テストマッチでオーストラリア等外国チームとの試合を通じて、日本代表チームの実力を大いに発揮され、7月26日からのパリ・オリンピックに向け実りある遠征になることを祈念しております。

令和6年 4月18日

在パース日本国総領事 内藤 康司